ご利用にあたって

●このガイドはドコモUIMカード（FOMAカード、ドコモminiUIMカードを含む。以下同）とドコモの携帯電話機などでご利用になれた場合のガイドとなります。
●ドコモの携帯電話機などのSIMロックを解除して、他社のSIMカードを挿入してご利用された場合は、このガイドに記載する各種サービスはご利用いただけません。また、ドコモの携帯電話機以外の携帯電話機などにドコモUIMカードを挿入してご利用された場合も、このガイドに記載する各種サービスはご利用いただけない場合がございます。
※このガイドにおけるFOMA・Xiとは、お客さまがドコモUIMカードを挿入した状態でのFOMA・Xi端末をあらわします。※このガイドに掲載している操作方法は、圏外のときは行えません。
※「Android」は、Google Inc.の商標または登録商標です。※掲載されているサービス名・商品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

電話に出られないときメッセージをお預かり

留守番電話サービス

お申込 必要

月額使用料 300円（税抜）

※詳しくは、26ページ「ご利用料金」をご覧ください。

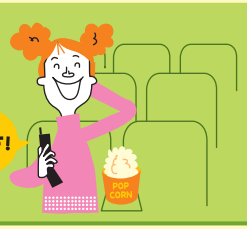
電波が届かないところ（圏外）にいたり、電源を切っている場合などに、ドコモの留守番電話サービスセンターがお客さまにかわって伝言メッセージをお預かりします。また、お客さまの応答メッセージのみ伝えて伝言メッセージをお預かりしない「不在案内」サービスもあります。

お申込みはこちらから
iモードケータイから　スマートフォンから

こんなときに留守番電話サービスが使えます。

●電波が届かないところにいるとき
●携帯電話の電源が入っていないとき
●設定した呼出時間内※に応答しなかったとき

※呼出時間は、0～120秒の間で任意に設定できます。



映画館でケータイの電源を切っても大丈夫。

長期海外出張もオリジナルメッセージでしっかりお知らせ。

サービスのポイント

伝言メッセージは、1件あたり最長3分、最大20件。
※音声電話・テレビ電話それぞれ20件ずつ保存されます。保存時間は72時間です。

テレビ電話対応端末なら映像でもメッセージが録画可能。
※スマートフォンなどの一部機種は非対応です（21ページ参照）。

［スマートフォン（AndroidOS搭載機）の場合］ 下記から設定を行ってください。
※機種により異なる場合があります。
●端末画面からの操作
「設定」を選択 →「通話設定」を選択 →「ネットワークサービス」を選択 →「留守番電話サービス」を選択

さらに便利！
テレビ電話にも対応！

映像でもメッセージが残せます！
留守番電話の伝言メッセージは、音声だけでなく映像（テレビ電話）で残すこともできます。
詳しくは、21～25ページをご覧ください。

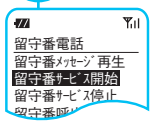
留守番電話サービスの開始

留守番電話サービスのご契約時には、本サービスの設定は「開始」になっています。※

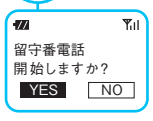
※転送でんわサービスが開始されている場合を除きます。※留守番電話サービスを「開始」にしていても電話をかけることができます。

端末画面からの操作

1 「留守番電話」メニューを表示させ、「留守番サービス開始」を選択します。



2 留守番電話サービスを開始する／しないの選択を行います。



確認画面に切替わりますので、留守番電話サービスを開始に設定する場合は、「YES」を選択します。その後応答結果が表示されます。
※引き続き、呼出時間の設定をしていただくことも可能です。

ダイヤルボタン操作

1 1 4 1 1 を押してください。

ガイダンス
ただいまから、留守番電話サービスを開始します。

※ガイダンスは留守番電話サービスの設定状態により異なります。

2 を押して終了します。

※電源が入っていて電波が届いている場合、留守番電話サービスセンターへ転送されるまでは電話に出ることができます。※テレビ電話を対応させる場合の操作方法は、21ページをご覧ください。
※マルチナンバーの付加番号で留守番電話サービスの「開始」「停止」設定を行う場合は、ドコモのホームページにてマルチナンバーの操作・設定方法をご覧ください。

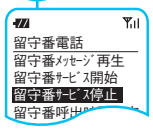
留守番電話サービスの停止

ここでいう「停止」とは、留守番電話サービスのご契約そのものを解約するものではありません。※

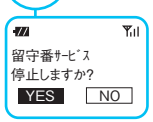
※サービス停止中でも月額使用料はかかります。

端末画面からの操作

1 「留守番電話」メニューを表示させ、「留守番サービス停止」を選択します。



2 留守番電話サービスを停止する／しないの選択を行います。



確認画面に切替わりますので、留守番電話サービスを停止に設定する場合は、「YES」を選択します。その後応答結果が表示されます。

ダイヤルボタン操作

1 1 4 1 0 を押してください。

ガイダンス
サービスを停止しました。

※ガイダンスは留守番電話サービスの設定状態により異なります。

2 を押して終了します。

※留守番電話サービスを停止にしていても、お話し中にかかってきた電話は留守番電話サービスセンターに接続（自動または手動接続）することができます。詳しくは、14・18ページをご覧ください。
※留守番電話サービスを停止にしていても、伝言メッセージの再生、応答メッセージの変更など各種操作は通常どおり行えます。
また、停止の操作を行ったときに、新しい伝言メッセージをお預かりしている場合には、音声ガイダンスでお知らせします。

●転送でんわサービスを同時にご契約されている場合

2つのサービスを同時に「開始」にすることはできませんが、転送でんわサービス「開始」の状態で、転送先の電話が通話中の場合には留守番電話サービスセンターに伝言メッセージを録音することができます。
※詳しい設定方法は、ドコモのホームページにて転送でんわサービスの操作・設定方法をご覧ください。
※この機能は、留守番電話サービスの停止の設定にかかわらず作動します。

●メニューを表示させるまでの操作手順は、機種によって異なります。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。●画面は実際とは異なる場合があります。

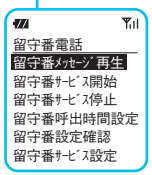
新しい伝言メッセージの 再生・保存・消去

留守番電話サービスセンターでお預かりしている新しい伝言メッセージを再生します。

●新しい伝言メッセージがない場合は、その旨を音声ガイダンスでお知らせし終了します（通話料はかかりません）。

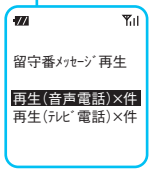
端末画面からの操作

1 「留守番電話」メニューを表示させ、「留守番メッセージ再生」を選択します。



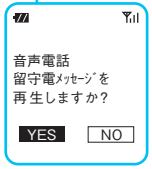
2 「再生（音声電話）×件」を選択します。

※音声電話のみメッセージがある場合は③画面が表示されます。



3 伝言メッセージを再生する／しないの選択を行います。

確認画面に切替わります。伝言メッセージを再生する場合は、「YES」を選択します。



4 留守番電話サービスセンターに接続します。

弊社の留守番電話サービスセンターに接続し、新規のメッセージを呼び出します。その間、画面には「留守番メッセージ再生」および「1417」と表示されます。

↓

音声ガイダンスに従い伝言メッセージの再生を行ってください（音声ガイダンス以後の操作方法については、右記の「ダイヤルボタン操作」をご覧ください）。

ダイヤルボタン操作

1 1417☎を押してください。

ガイダンス
【新しいメッセージがある場合】
×件の新しいメッセージがあります。

ガイダンス
×番目のメッセージです。…

※お客さまあてのメッセージ1件分が再生されます。

ガイダンス
このメッセージを消去するには3を、もう一度聞くには1を、保存するには2を、次のメッセージを聞くには#を押してください。

2 1（もう一度聞く） 2（保存する） 3（消去する） #（次のメッセージを聞く） いずれかを押してください。

1を押すと→1件分がもう一度再生されます。
2を押すと→「保存しました。」
3を押すと→「消去しました。」
の音声ガイダンスが流れます。
#を押すと→次のメッセージが再生されます。

※すべてのメッセージの再生が終わると、次の音声ガイダンスが流れます。

ガイダンス
メッセージは以上です。…

3 ✳☎を押して終了します。

※ダイヤルボタン操作の場合（遠隔操作において、電話番号とネットワーク暗証番号を入力する際は除く）、次に行う手順がわかれば音声ガイダンスの途中でも操作が可能です。

ひとことアドバイス

伝言メッセージの再生中に次のボタンを押すことで、いろいろな操作が行えます。

1 もう一度聞くことができます。
2 再生中のメッセージを保存します。
3 再生中のメッセージを消去します。
64 ひとつ前のメッセージに戻ります。*1
65 再生中のメッセージの受信日時を聞きます。
66 再生中の発信者番号を聞きます。*2
7 メッセージを5秒間巻き戻します。
8 メッセージを一時停止（20秒間）します。
9 メッセージを5秒間早送りします。
再生中のメッセージを飛ばして、次のメッセージを再生します。
✳ メッセージ再生を中止して、メインメニューに戻ります。

*1 64 の操作は1番目のメッセージ再生中には作動しません。誤って操作した場合には、✳ ボタンを2回押して、前の操作に戻ってください。
*2 発信者番号案内を開始に設定しないとご利用いただけません。詳しくは、11ページをご覧ください。

伝言メッセージの通知タイミングは？

●新規に蓄積されたとき ●未読の伝言メッセージ件数が変化したとき
●留守番電話サービスセンターに問い合わせたとき
●ショートメッセージサービス（SMS）の問い合わせを行ったとき ●発着信時

●留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあるかないかを確認したい場合

1417☎を押して留守番電話サービスセンターを呼び出すか、伝言メッセージの有無をメニュー操作などで確認できます。

●伝言メッセージ再生後は

2保存する、または3消去する、のいずれかの操作を行ってください。どちらの操作も行わなかった伝言メッセージは、新しいメッセージとして残ります。たとえば、再生途中で電話を切ってしまった場合や#を押して次のメッセージを再生した場合などは、「新しいメッセージ」として残ります。次に、1417☎で伝言メッセージを聞く場合は、新しいメッセージとして再度同じメッセージが再生されますのでご注意ください。

●伝言メッセージの保存期間は72時間

録音された時点から72時間です。72時間を超えると消去されます。

●お預かりできる伝言メッセージは20件まで

いつでも新しい伝言メッセージが受けられるように、重要でないメッセージはできるだけ消去することをおすすめします。

●保存した伝言メッセージを再生するには

1417☎から伝言メッセージを再生しようとした場合、保存したメッセージがあっても、新しいメッセージをお預かりしていなければ、留守番電話サービスセンターにつながらずに終了してしまいます。保存した伝言メッセージを再生するには、7ページ「保存した伝言メッセージの再生・保存・消去」をご覧ください。

●間違えて伝言メッセージを消去した場合

お客さまが電話を切る前に以下の操作を行うことにより再度メッセージを聞くことができます。
（1）メッセージが1件のみ→1を押す （2）メッセージが2件以上→✳▶1を押す

●電波の届かないところにいるときや電源を切っているときに伝言メッセージをお預かりした場合

伝言メッセージがあることを示すアイコンがリアルタイムに表示されない場合があります。電波の届くところに移動したときや再度電源を入れたときは、留守番電話サービスセンターにお問い合わせすることをおすすめします。

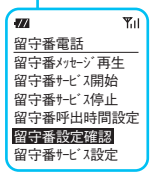
●メニューを表示させるまでの操作手順は、機種によって異なります。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。●画面は実際とは異なる場合があります。

設定状態の確認

留守番電話サービスの開始／停止と呼出時間、テレビ電話の設定内容を確認、変更できます。

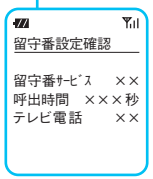
端末画面からの操作

1



「留守番電話」メニューを表示させ、「留守番設定確認」を選択します。

2



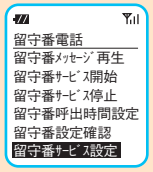
設定確認画面が表示されます。

留守番電話サービスの開始／停止、呼出時間、テレビ電話設定の対応／非対応が表示どおりでよろしければ終了してください。訂正したい場合は、機能メニューを選択し、訂正したい項目を選びます。それぞれの設定画面に移りますので、設定し直してください（設定方法はそれぞれの該当ページをご覧ください）。

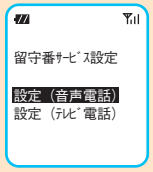
設定をする前に

画面操作から「1416」に自動発信することができます。

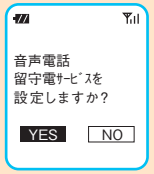
1416 へ発信して操作する設定*が、以下の画面操作からも行えます。
音声ガイダンス以後はそれぞれの設定ページをご覧ください。



「留守番電話」メニューを表示させ、「留守番サービス設定」を選択します。



「設定（音声電話）」を選択します。
※テレビ電話の設定をする場合は、「設定（テレビ電話）」を選択します。



留守番電話サービス設定を開始する／しないの選択を行います。
確認画面に切替わりますので、留守番電話サービスを開始に設定する場合は、「YES」を選択します。

音声ガイダンスに従い留守番電話サービスの設定*を行ってください。
（音声ガイダンス以後の操作方法については、各設定項目*の「ダイヤルボタン操作」をご覧ください。）

*「1416」の設定項目

保存した伝言メッセージの再生・保存・消去	7ページ
応答メッセージの作成・変更	9・10ページ
発信者番号案内の設定	11ページ
不在案内を使う	12・13ページ
テレビ電話応答メッセージの変更	23ページ
テレビ電話応答メッセージの作成	24ページ

新しい伝言メッセージの確認

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあるかないかは、以下の方法で確認することができます。

1

「メッセージ問い合わせ」で確認できます。また、メッセージの増加をお知らせすることも可能です。

2

1417 を押して、留守番電話サービスセンターを呼び出しても確認できます。

詳しくは、3ページ「新しい伝言メッセージの再生・保存・消去」をご覧ください。

3

待受画面にアイコンが表示され、確認できます。

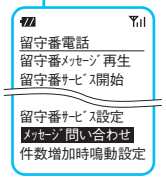
伝言メッセージがあるか確認したい

メッセージ問い合わせ

留守番電話サービスセンターに新規の伝言メッセージがあるかどうか、また、その件数を問い合わせるときにご利用ください。

端末画面からの操作

1



「留守番電話」メニューを表示させ、「メッセージ問い合わせ」を選択します。

2

応答結果が待受画面に表示されます。

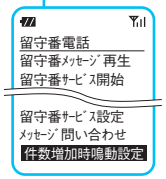
メッセージの増加がわかるようにしたい

件数増加鳴動設定

メッセージの件数が増加した場合に、鳴動して知らせるかどうかの設定を行います（一部機種ではご利用いただけません）。

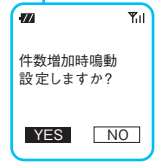
端末画面からの操作

1



「留守番電話」メニューを表示させ、「件数増加時鳴動設定」を選択します。

2



件数増加鳴動設定を開始する／しないの選択を行います。

確認画面に切替わりますので、件数増加鳴動設定を開始に設定する場合は「YES」を選択します。

3

応答結果が表示されます。

正常に設定されると、「件数増加時鳴動設定しました」と表示されます。これで、設定は終了です。

●メニューを表示させるまでの操作手順は、機種によって異なります。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。●画面は実際とは異なる場合があります。

保存した伝言メッセージの 再生・保存・消去

5ページ「ひとことアドバイス」の画面操作から設定を行うこともできます。

ダイヤルボタン操作

1 **1 4 1 6** を押してください。

ガイダンス
×件の保存メッセージがあります。メインメニューです。メッセージを聞くには1を、サービス内容を変更するには9を、終了するには＊を押してください。

2 **1** を押してください。

ガイダンス
×番目の保存メッセージです。…

※お客さまあてのメッセージ1件分が再生されます。

ガイダンス
このメッセージを消去するには3を、もう一度聞くには1を、保存するには2を、次のメッセージを聞くには#を押してください。

3 **1**（もう一度聞く）
2（保存する）
3（消去する）
#（次のメッセージを聞く）
いずれかを押してください。

1を押すと→1件分がもう一度再生されます。
2を押すと→「保存しました。」
3を押すと→「消去しました。」
の音声ガイダンスが流れます。
#を押すと→次のメッセージが再生されます。

※すべてのメッセージの再生が終わると、次の音声ガイダンスが流れます。

ガイダンス
メッセージは以上です。…

4 ＊ を押して終了します。

●伝言メッセージの再生中には
ボタンを押すことによって、いろいろな操作を行うことができます（詳しくは、4ページをご覧ください）。

●伝言メッセージの保存期間は72時間
録音された時点から72時間です。72時間を超えると消去されます。
保存した伝言メッセージを再生し、再度「2保存する」を選んだ場合でも保存期間は変わりません。

●他の電話機から伝言メッセージを聞くには
ドコモの携帯電話、一般電話、NTT公衆電話などから各種操作ができます。詳しくは、19ページ「他の電話機からの遠隔操作」をご覧ください。

●新しい伝言メッセージがある場合
保存した伝言メッセージより先に新しい伝言メッセージが流れます。

●伝言メッセージがない場合
「メッセージはお預かりしておりません。」という音声ガイダンスが流れます。引き続き他の操作を行う場合はメインメニューに従ってください。

ひとことアドバイス

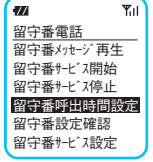
伝言メッセージを残すときに
「録音後、終了するには1を…」という応答メッセージが流れますが、1を押さなくても伝言メッセージは録音されます。3分を超えるか、録音途中で電話を切ると、切断前までの部分が蓄積されます。

呼出時間の設定

電波が届いている状態で留守番電話サービスセンターに接続されるまでの呼出時間を設定できます。

●0～120秒の間で秒数を設定でき、その間は電話に出ることができます。本設定は音声電話、テレビ電話どちらの場合も共通になります。

端末画面からの操作

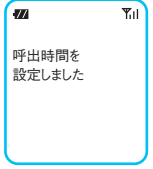
1


「留守番電話」メニューを表示させ、「留守番呼出時間設定」を選択します。

2

呼出時間を入力し、「確定」を選択します。

留守番電話サービスセンターに自動接続するまでの秒数を、0～120秒の間で設定してください。

3


応答結果が表示されます。

正常に設定されると、「呼出時間を設定しました」と表示されます。これで、設定は終了です。

ダイヤルボタン操作

1 **1 4 1 9** を押してください。

ガイダンス
留守番電話サービスの呼出秒数を0から120の間で入力し、最後に#を押してください。

2 **× × × #** を押してください。

ガイダンス
呼出秒数を×××秒に設定いたします。よろしければ#を、訂正するには＊を押してください。

3 **#** を押して終了します。

ひとことアドバイス

伝言メモと併用するときは？
携帯電話の伝言メモと留守番電話サービスを同時に設定した状態で、留守番電話サービスを優先させる場合は、留守番電話サービス呼出時間を伝言メモの呼出時間より短く設定してください。

●留守番電話サービスご契約時は、呼出時間は15秒に設定されています。
●設定できる呼出時間は0～120秒です。
●呼出時間の設定は、留守番電話サービスを一度停止した後も保存されます。
●呼出時間を0秒に設定した場合、携帯電話の着信履歴に残らずに直接留守番電話サービスセンターにつながります。
●電源が入っていない場合、電波が届かないところにいる場合は、直接留守番電話サービスセンターにつながります。
●電波の状況によっては、設定した呼出時間と実際の呼出時間が異なることがあります。

●メニューを表示させるまでの操作手順は、機種によって異なります。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。●画面は実際とは異なる場合があります。

応答メッセージの作成・変更

電話をかけてきた方へ流れる「応答メッセージ」の種類を選ぶことが可能です。

留守番電話サービスには以下の2つの機能があります。

留守番電話機能
発信者の伝言メッセージをお預かりする。
留守番電話の応答メッセージ ▶9・10ページ

不在案内機能
発信者の伝言メッセージをお預かりしない。
不在案内の応答メッセージ ▶12・13ページ

留守番電話応答メッセージの種類

以下の3パターンから選択できます。ご契約時には、「システム音声」に設定されています。

■「すべて自分の声」で登録した応答メッセージ

3分以内であれば、お好きなメッセージを自由に録音できます。

■「名前のみ自分の声」で登録した応答メッセージ

「システム音声」の応答メッセージのなかで、名前のみを自分の声で録音することができます。

コチラハ（システム音声） / やまもと 自分の声 / デス（システム音声）　※続いてシステム音声による応答メッセージが流れます。

■「システム音声（女性の声）」による応答メッセージ　ご契約時の応答メッセージ

発信音の後にメッセージを録音してください。録音後、終了するには1を、メッセージを確認・変更するには#を押してください。

応答メッセージを「システム音声」から変更する場合の操作

5ページ「ひとことアドバイス」の画面操作から設定を行うこともできます。

ダイヤルボタン操作

1. 1 4 1 6 ☎ を押してください。
   ガイダンス：×件の新しいメッセージがあります。メインメニューです。…サービス内容を変更するには9を、終了するには＊を押してください。
2. 9 を押してください。
   ガイダンス：ただいま留守番電話に設定されています。不在案内に変更するには1を、応答メッセージを確認・変更するには2を、…押してください。
3. 2* を押してください。
   *不在案内の応答メッセージを既に録音している場合は、2の後に1を押してください。その後以下のガイダンスが流れます。
   ガイダンス：留守番電話の応答メッセージを確認するには1を、ご自分の声で録音するには2を、名前のアナウンスを利用するには4を、このメニューを終了するには＊を押してください。

④以降の操作は10ページへ続きます。

「すべて自分の声」に変更 / 「名前のみ自分の声」に変更

9ページ ③ の続き

「すべて自分の声」に変更

4. 2 を押してください。
   ガイダンス：発信音の後に応答メッセージを録音してください。終わりましたら#を押してください。

応答メッセージを録音します。
※応答メッセージの録音時間は3分間です。

5. # を押してください。
   ガイダンス：【録音した応答メッセージが再生されます】このままでよければ1を、変更するには2を、この録音を取り消して変更前の応答メッセージを使用するには＊を押してください。
6. 1 を押してください。
   ※この部分にもガイダンスがありますので、ガイダンスがはじまってから行ってください。
7. ＊ ＊ ☎ を押して終了します。

9ページ ③ の続き

「名前のみ自分の声」に変更

4. 4 を押してください。
   ガイダンス：発信音の後に名前のみを録音してください。終わりましたら#を押してください。

名前のみを録音します。
※応答メッセージの名前の録音時間は10秒間です。

5. # を押してください。
   ガイダンス：相手の方には次の名前のアナウンスが流れます。【こちらは○○です。】このままでよければ1を、変更するには2を、この録音を取り消して、変更を中止するには＊を押してください。
6. 1 を押してください。
   ※この部分にもガイダンスがありますので、ガイダンスがはじまってから行ってください。
7. ＊ ＊ ☎ を押して終了します。

変更した応答メッセージは「システム音声」に戻すことができます。

[例]「すべて自分の声」から「システム音声」へ変更する場合

●ダイヤルボタン操作

1. 1 4 1 6 ☎ を押してください。
   ガイダンス：×件の新しいメッセージがあります。メインメニューです。…サービス内容を変更するには9を、終了するには＊を押してください。
2. 9 を押してください。
   ガイダンス：ただいま留守番電話に設定されています。不在案内に変更するには1を、応答メッセージを確認・変更するには2を、…押してください。
3. 2* を押してください。
   *不在案内の応答メッセージを既に録音している場合は、2の後に1を押してください。その後以下のガイダンスが流れます。
   ガイダンス：留守番電話の応答メッセージを確認するには1を、ご自分の声で再度録音するには2を、システム音声に変更するには3を、…押してください。
4. 3 を押してください。
   ガイダンス：システム音声に変更しました。名前のアナウンスを利用するには2を、このメニューを終了するには＊を押してください。

※「名前のみ自分の声」から「システム音声」へ変更する場合は、上記 ③ の操作が異なります。音声ガイダンスに従って操作してください。
※「すべて自分の声」「名前のみ自分の声」で登録したメッセージを「システム音声」に変更すると応答メッセージは消去されます。再び登録するにはあらためて録音してください。

発信者番号案内の設定

伝言メッセージと一緒に相手の方の電話番号を音声で聞くことができます。

5ページ「ひとことアドバイス」の画面操作から設定を行うこともできます。

ダイヤルボタン操作

1. 1 4 1 6 ☎ を押してください。

ガイダンス
×件の…があります。メインメニューです。…サービス内容を変更するには 9 を、…

2. 9 を押してください。

ガイダンス
ただいま…発信者番号案内を確認・変更するには 3 を、…

3. 3 を押してください。

ガイダンス
ただいま発信者番号案内は停止（または開始）に設定されています。このままでよければ 1 を、開始（または停止）にするには 2 を、このメニューを終了するには ＊ を押してください。

4. 確認してよければ 1 を 変更するには 2 を 押してください。

ガイダンス
【 1 を押した場合】
ただいま留守番電話（不在案内）に設定されています。…
【 2 を押した場合】
発信者番号案内を開始（または停止）しました。…

5. ＊ ＊ ☎ を押して終了します。

●留守番電話サービスご契約時には、発信者番号案内機能は「停止」に設定されています。

●伝言メッセージを再生するには、再度 1 4 1 6 ☎、1 4 1 7 ☎ の操作を行ってください。

●発信者番号案内停止の状態でお預かりした伝言メッセージについても、本機能を「開始」に設定した後に伝言メッセージを再生することにより、発信者番号を確認できます。

●以下の場合で留守番電話サービスセンターに伝言メッセージをお預かりしたときは、受信日時、伝言メッセージのみのご案内となります。

・発信者の意思により発信者番号を通知しない場合
・発信者番号を送出することができない回線からの発信の場合
・公衆電話からの発信の場合
・本機能が停止の場合

不在案内を使う

電話に出られないことを伝えるガイダンスで応答し、伝言メッセージをお預かりしない機能です。

●長期出張や休暇などで伝言メッセージを聞くことができないときにご利用ください。
※不在案内機能と留守番電話機能を同時に設定することはできません。また、テレビ電話には対応しておりません。

不在案内の応答メッセージの録音

不在案内の応答メッセージは、ご自分の声で録音してください。システム音声はご利用いただけません。

5ページ「ひとことアドバイス」の画面操作から設定を行うこともできます。

ダイヤルボタン操作

1. 1 4 1 6 ☎ を押してください。

ガイダンス
×件の…があります。メインメニューです。…サービス内容を変更するには 9 を、…

2. 9 を押してください。

ガイダンス
ただいま…不在案内に変更するには 1 を、…

3. 1 を押してください。

ガイダンス
不在案内に変更します。発信音の後に応答メッセージを録音してください。終わりましたら # を押してください。

応答メッセージを録音します。
※応答メッセージの録音時間は3分間です。

4. # を押してください。

ガイダンス
【応答メッセージが再生されます】
このままでよければ 1 を、変更するには 2 を、この録音を取り消して留守番電話に戻すには ＊ を押してください。

5. 1 を押してください。

ガイダンス
ただいま不在案内に設定されています。…

6. ＊ ＊ ☎ を押して終了します。

留守番電話から不在案内、不在案内から留守番電話への切替は？

留守番電話機能、不在案内機能、それぞれの応答メッセージが登録されていれば、
上記の ① ➡ ② ➡ ③ ➡ ⑥ の操作で切替えることができます。

※不在案内機能も留守番電話機能と同様に開始／停止ができますが、不在案内機能に切替えた状態で停止にすると、次に開始したときも不在案内機能のままになっています。不在案内機能を使ったときは、留守番電話機能に切替えるのを忘れないようご注意ください。

不在案内の応答メッセージの変更

不在案内で録音した応答メッセージの内容を変更する操作です。

5ページ「ひとことアドバイス」の画面操作から設定を行うこともできます。

ダイヤルボタン操作

1 **1 4 1 6 ☎** を押してください。

ガイダンス
×件の…があります。メインメニューです。…サービス内容を変更するには9を、…

2 **9** を押してください。

ガイダンス
ただいま不在案内に設定されています。…応答メッセージを確認・変更するには2を、…

3 **2** を押してください。

ガイダンス
留守番電話の…、不在案内の応答メッセージを確認・変更するには2を、…

4 **2** を押してください。

ガイダンス
不在案内の応答メッセージを確認するには1を、変更するには2を、…

5 **2** を押してください。

ガイダンス
発信音の後に応答メッセージを録音してください。終わりましたら#を押してください。

応答メッセージを録音します。

※応答メッセージの録音時間は3分間です。

6 **#** を押してください。

ガイダンス
【応答メッセージが再生されます】
このままでよければ1を、変更するには2を、この録音を取り消して、変更を中止するには*を押してください。

7 **1** を押してください。

ガイダンス
ただいま不在案内に設定されています。…

8 **＊ ＊ ☎** を押して終了します。

※ガイダンスは留守番電話サービスの設定状態により異なります。

●留守番電話機能に設定している場合

不在案内機能用の応答メッセージが既に録音してあれば、留守番電話機能に設定された状態でも不在案内の応答メッセージは変更することができます。

通話中着信設定

通話中にかかってきた別の電話の接続方法を選べます。

●留守番電話サービスおよび転送でんわサービスをご契約の場合、同時に契約している他のネットワークサービスを利用することも可能です。

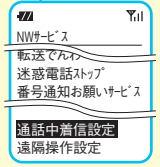
※本機能の設定は、通常の設定開始・停止とは別に行ってください。※本機能は通話中に別の電話がかかってきた場合にのみ作動します。それ以外（圏外や電話に出られない状態、電源を切っているときなど）は通常の設定に従って作動します。

［事前設定］端末画面から次の操作を行います

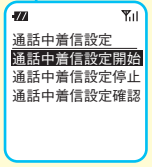
通話中着信設定を開始にします。

留守番電話サービス、転送でんわサービスご契約時には、「通話中着信設定」は「開始」に設定されています（通話中に別の電話がかかってくると、着信したことを通知します）。

1 「NWサービス」メニューを表示させ、「通話中着信設定」を選択します。



2 「通話中着信設定開始」を選択します。



「通話中着信設定開始しますか?」と表示されたら、「YES」を選択します。その後応答結果が表示されます。

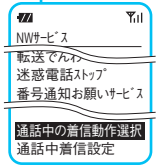
※なお、キャッチホンを「開始」に設定している場合は「通話中着信設定」を「開始」にする必要はありません。

通話中に別の電話がかかってきた場合どうするか、事前に設定します

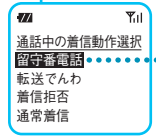
通話中にかかってきた別の電話に対して、「留守番電話」「転送でんわ」「着信拒否」「通常着信」の設定ができます。

端末画面からの操作

1 「NWサービス」メニューを表示させ、「通話中の着信動作選択」を選択します。



2 設定したい項目を選択します。



1 留守番電話*1
通話中にかかってきた別の電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

2 転送でんわ*2
通話中にかかってきた別の電話を自動的に転送先に転送します。

3 着信拒否
通話中にかかってきた別の電話に対して「ツーツーツー」という話中音になります。

4 通常着信*3
通話中に別の電話がかかってきたことをお知らせします。

3 **応答結果が表示されます。**
正常に設定されると、選択した項目に設定したことが表示されます。これで、設定は終了です。

※スマートフォンなど「通話中の着信動作選択」メニューがない一部機種については「通常着信」のみのご利用となります。

＊1 留守番電話サービスのご契約が必要です。＊2 転送でんわサービスのご契約が必要です。＊3 キャッチホンをご契約いただいている場合、キャッチホンが「開始」に設定されていれば、通常どおりキャッチホンが受けられます。また、同時に留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご契約いただき、「開始」に設定されていれば、設定した呼出秒数後に留守番電話サービスセンターへ接続もしくは転送先へ転送します（設定した呼出秒数経過後は、キャッチホンとして受けることはできません）。通話中にかかってきた別の電話には、伝言メモは作動しません。

●メニューを表示させるまでの操作手順は、機種によって異なります。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。●画面は実際とは異なる場合があります。

通話中の各設定をした場合の接続先について

通話中の各種設定をした場合、各サービスのご契約とその設定により、接続先は以下のようになります。

1 留守番電話

通話中に着信があった場合は「留守番電話サービスセンターに接続させる」設定が最優先されます。

お話し中に着信があった場合

留守番電話サービスのみをご契約の場合	留守番電話サービスの開始・停止に関係なく	**自動的に留守番電話サービスセンターに接続**
転送でんわサービスのみをご契約の場合	「ご利用方法をお確かめのうえ、おかけ直しください。」のガイダンスが流れ、設定自体ができません。	
留守番電話サービスに加え転送でんわサービス、キャッチホンのいずれか（または両方）をご契約の場合	留守番電話サービスの開始・停止に関係なく	**自動的に留守番電話サービスセンターに接続** （転送やキャッチホンの起動は行われません）
転送でんわサービスとキャッチホンをご契約の場合	「ご利用方法をお確かめのうえ、おかけ直しください。」のガイダンスが流れ、設定自体ができません。	

2 転送でんわ

通話中に着信があった場合は「転送先の電話番号に接続させる」設定が最優先されます。

お話し中に着信があった場合

留守番電話サービスのみをご契約の場合	「ご利用方法をお確かめのうえ、おかけ直しください。」のガイダンスが流れ、設定自体ができません。	
転送でんわサービスのみをご契約の場合	転送でんわサービスの開始・停止に関係なく	**転送先電話番号に転送**
留守番電話サービスとキャッチホンをご契約の場合	「ご利用方法をお確かめのうえ、おかけ直しください。」のガイダンスが流れ、設定自体ができません（キャッチホンは起動されません）。	
転送でんわサービスとキャッチホンをご契約の場合	転送でんわサービスの開始・停止に関係なく	**転送先電話番号に転送**
留守番電話サービスと転送でんわサービスをご契約の場合 または 留守番電話サービスと転送でんわサービス、キャッチホンをご契約の場合	留守番電話サービスを開始	**転送先電話番号に転送** ※この場合留守番電話サービスはご利用いただけません。
	転送でんわサービスを開始	**転送先電話番号に転送**
	留守番電話サービス、転送でんわサービスともに停止	**転送先電話番号に転送**

3 着信拒否

通話中にかかってきた別の電話を留守番電話サービスセンターや転送先の電話番号に接続させず、電話をかけてきた方には「ツーツーツー」の話中音をお聞かせします。

お話し中に着信があった場合

留守番電話サービスのみをご契約の場合	留守番電話サービスの開始・停止に関係なく	**話中音が流れます**
転送でんわサービスのみをご契約の場合	転送でんわサービスの開始・停止に関係なく	**話中音が流れます***
留守番電話サービスと転送でんわサービスをご契約の場合	留守番電話サービスの開始・停止、転送でんわサービスの開始・停止に関係なく	**話中音が流れます***
留守番電話サービスとキャッチホンをご契約の場合	留守番電話サービスの開始・停止に関係なく	**話中音が流れます** （キャッチホンは起動されません）
転送でんわサービスとキャッチホンをご契約の場合	転送でんわサービスの開始・停止に関係なく	**話中音が流れます*** （キャッチホンは起動されません）
留守番電話サービスと転送でんわサービス、キャッチホンをご契約の場合	留守番電話サービスの開始・停止、転送でんわサービスの開始・停止に関係なく	**話中音が流れます*** （キャッチホンは起動されません）

*転送でんわサービスを開始設定した場合、電波状況により話中音の前に呼出音が鳴る場合があります。

4 通常着信

お話し中に通話中着信音「ププ…ププ…」が鳴って、別の電話がかかってきたことをお知らせします。

●キャッチホンをご契約の場合

キャッチホンが開始に設定されていれば、通常どおりキャッチホンを受けられます。

●留守番電話サービスにご契約の場合

留守番電話サービスが開始に設定されていれば、通話中の着信を留守番電話サービスで設定した呼出秒数後に留守番電話サービスセンターに接続します。

●転送でんわサービスをご契約の場合

転送でんわサービスが開始に設定されていれば、通話中の着信を転送でんわサービスで設定した呼出秒数後に転送先へ転送します。

通常着信中は手動で契約サービスに接続することが可能です。詳しくは、18ページをご覧ください。

ひとことアドバイス

通話中以外のときの作動について

着信があって、応答しなかった場合／電源を切っていたり、圏外の場合

留守番電話サービスのみをご契約の場合	留守番電話サービスを開始	留守番電話サービスセンターに接続
	留守番電話サービスを停止	呼出音、もしくは電源が切れているか、圏外にいる旨のガイダンス
転送でんわサービスのみをご契約の場合	転送でんわサービスを開始	転送先電話番号に転送 ※設定したリスト番号へ転送
	転送でんわサービスを停止	呼出音、もしくは電源が切れているか、圏外にいる旨のガイダンス
留守番電話サービスと転送でんわサービスをご契約の場合	留守番電話サービスを開始	留守番電話サービスセンターに接続
	転送でんわサービスを開始	転送先電話番号に転送 ※設定したリスト番号へ転送
		転送先がお話し中のときは留守番電話サービスセンターに接続するよう事前に設定している場合 留守番電話サービスセンターに接続
	留守番電話サービス、転送でんわサービスともに停止	呼出音、もしくは電源が切れているか、圏外にいる旨のガイダンス

【通話中着信設定のご利用にあたって】

●設定は、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約いただいている携帯電話から行います。一般電話、NTT公衆電話、他の携帯電話などからの遠隔操作はできません。
●通話の前に、あらかじめご希望の設定をしておく必要があります。

【発信呼出中に着信があった場合】

●留守番電話サービス（転送でんわサービス）開始中に着信動作選択を「通常着信」「着信拒否」に設定し、発信呼出中に着信があった場合は、留守番電話サービス（転送でんわサービス）に接続します。

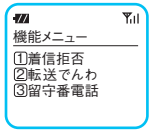
通話中にかかってきた別の電話を手動で契約サービスに接続します

［事前設定］ 通話中に選択するには、着信動作選択を「通常着信」にする必要があります。
詳しくは、14ページをご覧ください。

通話中に着信があった場合の操作と処理

通話中に別の電話がかかってきた場合、着信を知らせる通知音が鳴っているときに次の操作を行います。また、通話待ち受け中に着信があった場合にも、手動で操作できます。この操作と処理は、各サービスの設定が「停止」になっていても有効です（キャッチホンは除きます）。

端末画面からの操作



通話中に機能ボタンを押して「機能メニュー」を表示させ、接続したいサービスを選択します。

●キャッチホンを利用する場合と未対応機種は、下記のダイヤルボタン操作を行ってください。

※スマートフォンなど「機能メニュー」がない一部機種ではご利用いただけません。

ダイヤルボタン操作

留守番電話サービスのみをご契約の場合	メニュー ＋ # ボタンの操作で	留守番電話サービスセンターに接続
転送でんわサービスのみをご契約の場合	メニュー ＋ ＊ ボタンの操作で	転送先電話番号に転送
キャッチホン*のみをご契約の場合	または ボタンの操作で	キャッチホンを利用
留守番電話サービスと転送でんわサービスをご契約の場合	メニュー ＋ # ボタンの操作で	留守番電話サービスセンターに接続
	メニュー ＋ ＊ ボタンの操作で	転送先電話番号に転送
留守番電話サービスとキャッチホン*をご契約の場合	メニュー ＋ # ボタンの操作で	留守番電話サービスセンターに接続
	または ボタンの操作で	キャッチホンを利用
転送でんわサービスとキャッチホン*をご契約の場合	メニュー ＋ ＊ ボタンの操作で	転送先電話番号に転送
	または ボタンの操作で	キャッチホンを利用
留守番電話サービスと転送でんわサービス、キャッチホン*をご契約の場合	メニュー ＋ # ボタンの操作で	留守番電話サービスセンターに接続
	メニュー ＋ ＊ ボタンの操作で	転送先電話番号に転送
	または ボタンの操作で	キャッチホンを利用

＊キャッチホンは「開始」に設定されている場合です。
※操作は機種によって異なる場合があります。詳しくは、取扱説明書をご覧ください。
※手動で操作する場合、「104（電話番号案内）」「110（緊急通報）」「118（海上での緊急通報）」「119（消防・救急への緊急通報）」など、3桁の番号および「14××（留守番電話サービスの操作など）」をおかけになっている間は、この機能はご利用いただけません。
※WORLD WINGをご利用中に音声着信した際、「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」への手動切替はご利用いただけません。

●メニューを表示させるまでの操作手順は、機種によって異なります。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。●画面は実際とは異なる場合があります。

留守番電話サービス

他の電話機からの 遠隔操作

一般電話機などから遠隔操作が行えます。
ご利用には4桁のネットワーク暗証番号が必要です。

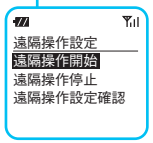
遠隔操作の開始／停止の設定を行います

ご利用中の携帯電話から操作します。ご契約時は、「遠隔操作が利用できない状態」に設定されていますので、あらかじめご利用中の携帯電話で遠隔操作を「開始」に設定する必要があります。

端末画面からの操作

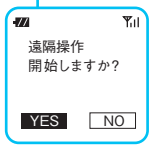
※スマートフォンなど「遠隔操作設定」メニューがない一部機種ではダイヤルボタン操作での設定となります。

1



「遠隔操作設定」メニューを表示させ、「遠隔操作開始」または、「遠隔操作停止」を選択します。

2



遠隔操作を開始（停止）する／しないの選択を行います。

確認画面に切替わりますので、遠隔操作を開始（停止）に設定する場合は、「YES」を選択します。正常に設定されると、設定が完了した旨が表示されます。

※ここでは遠隔操作開始の画面を記しています。

ダイヤルボタン操作

1 1 5 9 を押してください。

ガイダンス
遠隔操作を停止にするには数字の 0 を、開始にするには数字の 1 を入力してください。

2 1（開始） 0（停止）
「プ・プ・プ…」という音を確認したらどちらかを押してください。

ガイダンス
【1を押した場合】
ただいまから遠隔操作が可能です。
【0を押した場合】
ただいまから遠隔操作は行えません。

3 を押して終了します。

●遠隔操作で各種設定が行える電話機は

ドコモの携帯電話、一般電話、NTT公衆電話などから各種操作ができます。*1 *2 なお、プッシュ信号の送出できる機種に限ります。外形上はプッシュ電話機でも、ダイヤル回線を利用している電話機では、0 9 0-3 1 0-1 4 1 ×（留守番電話サービス）、0 9 0-3 1 0-1 4 2 ×（転送でんわサービス）の後、お客さまの電話番号を発信する際に、＊（トーン）のボタンを押すなどして、プッシュ信号（ピッポッパ音）を送る操作が必要となります（切替の操作は電話機の種類によって異なります）。

*1 他社の携帯電話・PHS、NTT以外の公衆電話、NTT列車公衆電話では操作できません。 *2 IP電話は操作できない場合があります。

ひとことアドバイス

遠隔アクセスロック機能で不正使用を防止!

他の電話機から遠隔操作を行うとき、ネットワーク暗証番号を一定回数誤って入力すると、第三者による不正使用を防ぐため、遠隔操作は自動的に停止します。

●暗証番号誤入力回数が連続で3回に達したとき→センターとの接続を切断します。
※この段階では、まだ遠隔操作は「停止」の設定にはなりません。
●暗証番号誤入力回数が連続で4回に達したとき→センターとの接続を切断し、遠隔操作を「停止」にします。

遠隔アクセスロック解除方法
ご利用中の携帯電話から遠隔操作開始の設定を行うか、ネットワーク暗証番号の変更手続きを行ってください。
※暗証番号が再付与されたときは、遠隔操作は「開始」に設定されています。

他の電話機から遠隔操作で各種設定を行います

※下記操作を行う場合は、あらかじめ遠隔操作を「開始」の状態にしてください（19ページ参照）。

1 ❶ドコモの携帯電話、一般電話、NTT公衆電話などから操作する場合

0 9 0-3 1 0-1 4 × × ☎

❷海外にある一般電話などから操作する場合

滞在国の国際電話アクセス番号-8 1-9 0-3 1 0-1 4 × × -0-☎

を押してください。
（1 4 × ×は、お客さまが行いたい操作の操作番号を押してください。）

ガイダンス
お客さまの電話番号を押してください。

留守番電話
- 1 4 1 1 留守番電話サービスの開始
- 1 4 1 0 留守番電話サービスの停止
- 1 4 1 7 新しい伝言メッセージの再生
- 1 4 1 6 保存した伝言メッセージの再生、留守番電話サービスの設定
- 1 4 1 9 留守番電話サービス呼出時間の設定

転送でんわ
- 1 4 2 9 転送でんわサービスの各種設定
- 1 4 2 1 転送でんわサービスの開始（転送先の指定）
- 1 4 2 0 転送でんわサービスの停止

2 0 × 0-× × × ×-× × × ×

「プ・プ・プ…」という音を確認した後、ご契約中の携帯電話番号を押してください。

ガイダンス
ネットワーク暗証番号を押してください。

※電話番号の入力を間違えたときは、＊を押して訂正することができます。

3 × × × ×（ネットワーク暗証番号）

「プ・プ・プ…」という音を確認した後、ネットワーク暗証番号（4桁）を押してください。

これ以降の手順はご利用中の携帯電話からの操作と同様です。ガイダンスに従って各種操作を行ってください。

●遠隔操作にあたってのご注意

［ドコモの携帯電話、一般電話、NTT公衆電話などから操作する場合］
●マルチナンバーの付加番号の設定は遠隔操作できません。
●留守番電話サービスの開始、停止、呼出時間の設定、転送でんわサービスの開始、停止など各種設定については通話料は無料です。ただし、ホテルの室内電話から遠隔操作を行うと、ホテル側からその通話料を請求される場合があります。
［海外にある一般電話などから操作する場合］
●発信者に対してご利用いただいた国の国際通話料が直接かかります（請求書には含まれません）。また、ホテルの室内電話から遠隔操作を行うと、ホテル側からその通話料を請求される場合があります。
●操作を行う国や電話機によっては、ご利用いただけない場合があります。
●転送先を海外へ設定するには、あらかじめ弊社へのお申込み（国際転送サービス）が必要となります。

●メニューを表示させるまでの操作手順は、機種によって異なります。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。●画面は実際とは異なる場合があります。

留守番電話サービスの テレビ電話設定

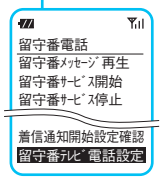
留守番電話をテレビ電話に対応させるかどうかの設定を行います。

●留守番電話サービスのご契約時には、「テレビ電話対応」になっています。
●テレビ電話設定を「対応」にしても、留守番電話サービスを「開始」にしないとご利用いただけません。操作方法は、2ページをご覧ください。

端末画面からの操作

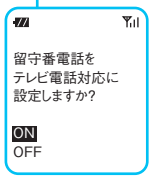
●906i・706iシリーズより前に発売された機種およびスマートフォンでは画面からの操作はできません。「ダイヤルボタン操作」をご覧ください。

1



「留守番電話」メニューを表示させ、「留守番テレビ電話設定」を選択します。

2



テレビ電話対応に設定する／しないの選択を行います。

正常に設定されると、設定が完了した旨が表示されます。

ダイヤルボタン操作

1 1 4 1 2 を押してください。

ガイダンス

現在留守番電話サービスはテレビ電話非対応(対応)に設定されています。テレビ電話対応(非対応)に設定するには…を押してください。

※ガイダンスは留守番電話サービスの設定状態により異なります。

2 1(テレビ電話対応) 2(テレビ電話非対応) いずれかを押してください。

ガイダンス

留守番電話サービスをテレビ電話対応(非対応)に設定しました。ご利用ありがとうございました。*

*新規映像メッセージをお預かりしている場合は、本ガイダンスの前にその旨をお知らせいたします。

3 を押して終了します。

ⓘ非対応端末をご利用のお客さまへ

DTMF(プッシュ信号)非対応端末、テレビ電話非対応端末では、テレビ電話による伝言メッセージの再生や、応答メッセージ機能などはご利用いただけません。テレビ電話設定を「対応」にしていると、再生はできませんが映像メッセージが蓄積されてしまいますので、上記ダイヤルボタン操作でテレビ電話設定を「非対応」にしてください。また、映像メッセージを録画することもできません。

DTMF非対応端末(平成25年12月現在)	SIMPURE N、P2101V、P2402、P2403、D2101V、T2101V、SH2101V、F2402、M2501、N2502

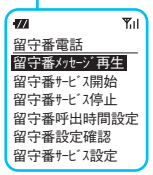
スマートフォンおよびタブレット、データ通信製品はテレビ電話非対応です。
その他非対応端末については、ドコモのホームページをご確認ください。

テレビ電話伝言メッセージの 再生・保存・消去

お預かりしている映像メッセージを再生します。

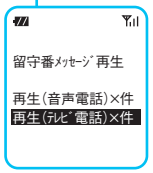
端末画面からの操作

1



「留守番電話」メニューを表示させ、「留守番メッセージ再生」を選択します。

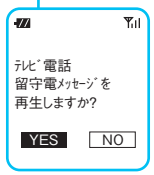
2



「再生(テレビ電話)×件」を選選択します。

※テレビ電話のみメッセージがある場合は③画面が表示されます。

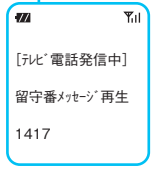
3



伝言メッセージを再生する／しないの選択を行います。

確認画面に切替わります。伝言メッセージを再生する場合は、「YES」を選択します。

4



留守番電話サービスセンターに接続します。

弊社の留守番電話サービスセンターに接続し、新規のメッセージを呼び出します。その間、画面には「留守番メッセージ再生」および「1417」と表示されます。
↓
ガイダンスに従い伝言メッセージの再生を行ってください(以後の操作方法については、右記の「ダイヤルボタン操作」②画面以降をご覧ください)。

ダイヤルボタン操作

1 1 4 1 7 を押してテレビ電話発信します。

2

新規メッセージの件数、保存メッセージの有無が表示されます。

3

1番目のメッセージが再生されます。*

保存メッセージのみの場合は、保存メッセージが再生されます。新規・保存メッセージがない場合は、通信が切断されます。

*伝言メッセージ再生中に#を押すと、再生中のメッセージを飛ばして次のメッセージを再生します。また、ガイダンスの一部も#を押すとスキップできます。

4

1 (もう一度再生)
2 (保存)
3 (消去)

いずれかを押してください。

1を押すと→もう一度再生されます。

2を押すと→保存されます。
残りのメッセージがある場合は引き続き再生されます。メッセージがない場合は通信が切断されます。

3を押すと→消去されます。
残りのメッセージがある場合は引き続き再生されます。メッセージがない場合は通信が切断されます。

※ガイダンスはすべて音声ガイダンスも流れます。

●メニューを表示させるまでの操作手順は、機種によって異なります。詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。●画面は実際とは異なる場合があります。

テレビ電話 応答メッセージの 変更

テレビ電話をかけてきた方へ流れる映像の「応答メッセージ」を選ぶことが可能です。

ダイヤルボタン操作

① 1 4 1 6 を押してテレビ電話発信します。

②

3 を押してください。

③

1 ～ 5 設定したい応答メッセージの番号を入力してください。

自作メッセージがない場合に5を押すと、メッセージが録画されていない旨が表示されますので、24ページ ② の画面からメッセージを作成してください。

※英語版は 1 (英語) か 2 (自作) の2パターンで選択となります。

※② の画面で 1 を押すと現在の設定内容が確認できます。
※ガイダンスはすべて音声ガイダンスも流れます。

④

選択したメッセージが再生されます。

⑤

1 を押してください。

他のメッセージに設定するには 2 を押してください。③ の画面に切替わります。

⑥

応答結果が表示されます。

正常に設定されると、「応答メッセージに設定しました」と表示されます。これで設定は終了です。

※端末画面からの操作方法は、5ページ「ひとことアドバイス」をご覧ください。

ひとことアドバイス

英語ガイダンス設定時について

英語ガイダンス設定で発信時の言語を「英語」に設定している場合は、各操作のガイダンスは英語で流れます。また、応答メッセージの設定は自作と英語の2パターンからの選択になります。
ただし、発信端末および着信端末の設定状態により、選択した通常設定応答メッセージとは異なる場合があります。

テレビ電話 応答メッセージの 作成

映像の「応答メッセージ」を自分でつくることが可能です。

ダイヤルボタン操作

① 1 4 1 6 を押してテレビ電話発信します。

②

2 を押してください。

③

応答メッセージを録画します。

※応答メッセージの録画時間は3分間です。

※ガイダンスはすべて音声ガイダンスも流れます。

④

を押してください。

⑤

1 を押してください。

⑥

応答結果が表示されます。

正常に設定されると、「応答メッセージに設定しました」と表示されます。これで設定は終了です。

※端末画面からの操作方法は、5ページ「ひとことアドバイス」をご覧ください。

ひとことアドバイス

留守番電話サービスご契約時には、月替わりの応答メッセージに設定されています。

毎月自動的に入替わりますので、季節感のある応答メッセージがお楽しみいただけます。

●画面は実際とは異なる場合があります。

発信者の方が伝言メッセージを残す場合は、以下のように操作します。

1

電話をかけたい相手の電話番号を入力し、テレビ電話発信します。

2

応答メッセージが再生されます。その後、メッセージを録画します。

3

1 を押してください。

※ここで通話を終了してもメッセージは保存されます。

4

応答結果が表示されます。

正常に保存されると、「メッセージをお預かりしました」と表示されます。これで終了です。

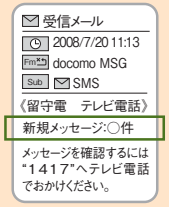
新規映像メッセージの通知について

ひとことアドバイス

待受画面にアイコンが表示され、確認できます。

一部端末ではショートメッセージサービス（SMS）にて件数のみ表示します。

※通知には通信料はかかりません。
※SMS拒否機能を設定している場合でも通知されます。



●テレビ電話のご利用に関するご注意

●DTMF（プッシュ信号）非対応端末やテレビ電話非対応端末ではご利用いただけません。詳しくは、21ページをご覧ください。

※上記端末でテレビ電話設定を「対応」にしていると映像メッセージが蓄積されてしまいますので、1412 へ音声発信し、テレビ電話を「非対応」に設定してください。

●他の電話機からの遠隔操作、不在案内機能、発信者番号案内機能はご利用いただけません。
●他社のテレビ電話からは、映像メッセージの録画および操作ができない場合があります。
●国際ローミング中の携帯電話へ映像メッセージを録画することはできません。また、国際ローミング中の携帯電話から映像メッセージを録画することもできません。
●キャラ電利用時や一部機種でDTMF送出モードがOFFの場合、伝言メッセージの消去などの操作ができません。留守番電話サービスへ接続後、機能メニューよりDTMF送出モードをONに切替えてご利用ください。
●32Kテレビ電話発信ではご利用いただけません。
●応答ガイダンスのコンテンツは変更される場合があります。

ご利用料金

お申込み手続きが必要です。

月額使用料 300円（税抜）

操作料金 以下の表をご覧ください。

種　別	通話料	ダイヤルボタン操作	料　金	
サービスの開始	無料	1411	——	
サービスの停止	無料	1410	——	
新しい伝言メッセージの再生	有料 *1 *2	1417	契約携帯電話から操作	ご契約のプランに応じた一般電話へ発信する際の通話料金が適用
		0990-310-1417	FOMA・Xiから遠隔操作 *4	プラン150で一般電話へ発信する際の通話料金が適用 *5
			一般電話から遠隔操作 *4	携帯電話へ発信する際の通話料金が適用
			NTT公衆電話から遠隔操作 *4	
保存した伝言メッセージの再生 応答メッセージの変更 発信者番号案内・不在案内機能の設定	有料 *1 *3	1416	契約携帯電話から操作	ご契約のプランに応じた一般電話へ発信する際の通話料金が適用
		0990-310-1416	FOMA・Xiから遠隔操作 *4	プラン150で一般電話へ発信する際の通話料金が適用 *5
			一般電話から遠隔操作 *4	携帯電話へ発信する際の通話料金が適用
			NTT公衆電話から遠隔操作 *4	
呼出時間の設定	無料	1419	——	
遠隔操作の設定	無料	159	——	
テレビ電話設定（対応／非対応）	無料	1412	——	
新しい映像メッセージの再生 保存した映像メッセージの再生	有料 *6	1417（テレビ電話発信）	契約携帯電話から操作	ご契約のプランに応じた一般電話へ発信する際のデジタル通信料が適用
テレビ電話応答メッセージの作成・変更	有料	1416（テレビ電話発信）	契約携帯電話から操作	ご契約のプランに応じた一般電話へ発信する際のデジタル通信料が適用

＊1 音声ガイダンスが流れはじめた時点から、通話料がかかります（「端末画面からの操作」の場合も同様です）。
＊2 1417 で操作した場合、新しい伝言メッセージが蓄積されていないときは、通話料はかかりません（「端末画面からの操作」の場合も同様です）。
＊3 1416 で操作した場合、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが蓄積されていなくても、通話料がかかります（「端末画面からの操作」の場合も同様です）。
＊4 他の電話機から遠隔操作を行った場合でも、ご契約携帯電話番号への請求となります。
＊5 ご契約されているプランにかかわらず、プラン150（FOMA・Xi）が適用されます。各料金プランの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
＊6 新しい（保存した）映像メッセージが蓄積されていないときは、通信料はかかりません。
※ 伝言メッセージの録音・録画には、発信者に通話通信料がかかります（留守番電話の応答メッセージが流れはじめた時点から、通話通信料がかかります）。発信者が伝言メッセージを録音する際に、応答メッセージが流れた時点で # を押すと、応答メッセージをスキップすることができます（プッシュ信号の送出できる機種に限ります）。
※ 地域によって、一部料金が異なる場合があります。

●画面は実際とは異なる場合があります。

ご利用上の注意

●契約内容変更時のご注意

●電話番号保管、電話番号変更、解約時には蓄積された伝言メッセージはすべて消去されます。名義変更、承継時については消去されません。

●利用の一時中断中は留守番電話サービスの各種操作（遠隔操作を含む）をご利用いただけませんが、毎月の使用料はお支払いいただきます。なお、蓄積された伝言メッセージは、最初に録音された時点から72時間を超えると消去されます。

●名義変更時、譲り渡す方は必ず蓄積された伝言メッセージをすべて消去してください。譲り受ける方にメッセージを聞かれてしまう恐れがあります。また、譲り渡す前に必ずサービスを停止してください。手続き中に伝言メッセージが録音されることがあります。

●譲り受けた方は、必ずネットワーク暗証番号の変更を窓口にて行ってください。譲り渡した方に伝言メッセージを聞かれてしまう恐れがあります。また、設定されている応答メッセージをご確認のうえ、必要に応じ応答メッセージの変更を行ってください。

●他のサービスとの併用

●転送でんわサービスと同時にご契約いただいている場合、留守番電話サービスか転送でんわサービスのいずれかを開始すると、他方は自動的に停止となります。また、現在サービス中のものを停止しても他方は自動的に開始にはなりません。

●その他のご注意

●留守番電話機能と不在案内機能は、同時に設定できません。

●発信者が通話録音サービスをご利用中の場合には、留守番電話機能および不在案内機能で設定した応答メッセージの一部または全部が流れない場合がございます。通話録音サービスの詳細についてはドコモビジネスオンライン（ドコモの法人向けサイト）などにてご覧ください。

●留守番電話サービスセンターに一時的にかかりにくくなっている場合には、その旨のメッセージが流れることがあります。このような場合には、しばらくたってからおかけ直しいただきますようお願いいたします。

●FOMA・Xiデータ通信専用プランをご契約の場合は、本サービスをご利用いただけません。

●一部のスマートフォンにおいて、伝言メッセージ（消去／保護前）の件数がショートメッセージサービス（SMS）「VM:○○」にて配信されます（○○部分に伝言メッセージ（消去／保護前）の件数が表示されます）。
当該SMSについて配信停止や拒否設定を行うことはできません。当該SMSの受信料は無料です。

●端末により本サービスおよび本サービスの一部をご利用いただけない場合があります。

※遠隔操作に関する注意事項は20ページ、テレビ電話に関する注意事項は25ページをご覧ください。